



よ坊さんだより

▼39▲

2000(平成12)年に

「児童虐待防止法」が制定

されてから、児童相談所に

寄せられる児童虐待相談件

数は年々増加の一途をたど

っています。約20年前は全

国で1・10件だった相談件

数が10(平成22)年の調べ

では55・145件と、約50

倍に上っていると報告され

ています。虐待の中でも私

たち歯科医師の日常臨床に

深く関係するのが、前回(10

月31日掲載)お伝えした「デ

ンタルネグレクト」です。

近年、むし歯の予防に対

する関心が高まり、各家庭

でもフッ化物入りの歯磨き

報告されています。もちろ

す。

剤を使用したり、乳幼児の

ころから歯科医院での定期

健診を受けることにより、

むし歯になる人の割合、む

し歯の数は減少傾向にあり

ます。その一例として、厚

生労働省が発表した歯科疾

患実態調査の中で2〜19歳

合、私たち歯科医師はネグ

デンタルネグレクトと

歯科医師の務め

の一人平均未処置歯数(治療せず放置してあるむし歯の数)は1本未満であると言われていました。

一方、ある県で調査したネグレクトを受けている子どもでは、5本以上と明らかに未処置歯が多かったと報告されています。もちろん

レクトの可能性も含めて注意深く患者さんを観察するよう努めています。

歯は、食物をよくかみ心身ともに健全な成長発育を促す大事な役目を持っています。乳歯、永久歯にはそれぞれに大事な役目があることを我々歯科医師は保護者の方に伝えていく義務があり、日々の診療や学校健診などを通じて、子どもの口から見えてくるSOSに気づき、早期対応をしていく務めがあると考えます。

(京都府歯科医師会 学校歯科部委員 木村英城)
*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。